

福島県南会津町中荒井地区との交流を通じて 農山村のこれからを考える (経済経営学類 准教授 沼田 大輔)

背景

- 福島大学生協では南会津の間伐材でできた割り箸が使われている
- 「会津高原 森林の楽校」(2011年から毎年夏に実施):
 - この割り箸の製造体験を、森林で間伐するところから行う
 - 教員や関係者のサポートのもと、福島大学の学生が、企画・運営
 - 福島県南会津町中荒井地区で行われている
 - 中荒井地区の方々と交流を深める必要性が指摘されていた
- 南会津町中荒井地区:
 - 他の中山間地域と同様、高齢化・過疎化が進行
 - 大学生と交流することで、地域の活性化を図りたいと考えていた



福大生がキャッチフレーズを考えた箸袋



福大生が作った、福大生協会の割り箸コーナーの掲示物



割り箸の原料を間伐



割り箸の製造工場を見学



概要 I 福島大学から中荒井地区を訪問 (2015年6月6-7日)

「田やすみふれあいグランドゴルフ大会」参加



地域の皆さんと福大生での記念写真



グランドゴルフ後に地区の皆さんと交流会



福島民報新聞 2015年6月24日



福島民友新聞 2015年6月10日 会津ワイド

中荒井地区役員の方々などと今後について話し合い



福島県南会津町中荒井地区との交流を通じて 農山村のこれからを考える

経済経営学類 准教授 沼田大輔

福島大学生協で使われている間伐材製の割り箸は、福島県南会津町中荒井地区から採ります。この割り箸ができるまでを訪ねるツアー「会津高原 森林の楽校」が2011年にスタートし、今年で5年目になります。ツアーを重ねるにつれて、中荒井地区の充実づくりに、大学生の若い力が期待されるようになってきました。中荒井地区も、他の町村と同様に、高齢化・過疎化が進み、厳しい状況にあります。この活動は、このような農山村の厳しい現状に目を向けるきっかけを、福島大学生に提供する可能性を探るものです。

私としては、旧中荒井分校が福島大学と会津町の農山村をつなぐ拠点としての機能をもち、この分校を起点に、農山村のこれからを考える教育・研究の可能性が様々な広がればと考えています。



中荒井 田休みふれあいグランドゴルフ大会の様子(2015年6月7日)

今年度は、沼田教養演習の新生入学外研修で、6月に「中荒井 田休み ふれあい グランドゴルフ大会」に参加し、地域の皆さんと交流しました。今後は、中荒井地区の皆さんを福島大学にお招きして、農山村の現状と今後について、議論する機会を設けることも考えています。議論の論点の一つに、廃校になった、旧中荒井分校の利活用があります。

ふくしま未来学 2015年12月5日 Center of Community COC News

概要 II 中荒井地区から福島大学を訪問 (2016年1月14-15日)

沼田教養演習で、中荒井地区の地域づくりについてワークショップ



丹波 ふくしま未来学 実施責任者と 中荒井区長で、意見交換

真田 経済経営学類長と 中荒井区長で、意見交換

福島大学 中井学長と、中荒井区長で 今後について、意見交換

成果と今後

- 中山間地域に身をもって接する機会、その機会を自分で作ることを学生自身が求めていることが伺えた
 - これを機に、沼田教養・専門演習生も加わり、自己学習プログラム 2015 後期「南会津活性化プロジェクト」が新たに実施された
- 大学や学生と関わることで地域活性化の起爆剤にすることを、中山間地域自身も求めていることが分かった
 - 中山間地域の皆さんも、大学や学生に興味関心を持ち、前向きに取り組まれていることも分かった
- 今後考えている新たな発展の方向性:
 - 主に沼田教養演習で、森林保全・地域活性化をテーマに、スタディスキル、アクティブラーニングのトレーニング
 - 中荒井地区をフィールドの拠点としつつ、他の中山間地域もいくつか訪れることで学びを深め、教育効果の進展を図る
 - 中山間地域に関して福大周辺でできるイベントを、学生自身が考え、中山間地域の方々と協力して実施し、振り返り、まとめる

主に、平成27年度 沼田教養演習・沼田専門演習 と関係